

TEAM IMPUL

Race result report



SUPER FORMULA Round1

SUZUKA 2&4 RACE

2015.4.18~19 SUZUKA CIRCUIT

Hoshino Racing Co.,Ltd.

SUPER FORMULA Round1 SUZUKA 2&4 RACE Race Result Report 2015.4.18~19

LENOVO TEAM IMPUL No.19 J.P de Oliveira (Brasil)
No.20 Andrea Caldarelli (Italiana)

課題が残る週末になるも JPが4位で貴重なポイントを獲得



いよいよ国内トップフォーミュラ、SUPER FORMULAが開幕です。鈴鹿サーキットを舞台に11チーム19台が凌ぎを削ります。今年は昨年最終戦第2レースまでタイトルを争った19号車のジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(ブラジル)は残留し、再び王座に挑みますが、20号車は昨年スポット参戦ながらポールポジションや表彰台を獲得し注目を集めた若手筆頭株、アンドレア・カルダレリ(イタリア)を新たに起用します。メインスポンサーには引き続きレノボ・ジャパン株式会社様をお迎えしLENOVO TEAM IMPULとして3年目のシーズンをドライバー・チームのダブルチャンピオンの奪還で飾るべくレースに盤石の体制で臨みます。



4/18(土)公式予選 天候:晴れ コース:ドライ 気温:19℃ 路面温度:31℃ 観客動員数:23000人

晴れの天候で予選を迎えた鈴鹿サーキット。今回は全日本ロードレース選手権JSB100クラスと同時開催で2&4レースとなったため、JSB100クラスの予選を挟みSFの予選を迎えました。今季もノックアウト予選が採用され、Q1~Q3でポールポジションを決めます。Q1は13時50分より20分間で行われました。上位14台がQ2へ進出となります。セッション開始と同時にライバル勢とともに、オリベイラとカルダレリも一斉にコースに飛び込んでいきます。セッティングなど感触を確かめ、残り10分、一旦ピットに戻り微調整を行います。残り5分を切ろうかというところでコースに復帰しアタック。しかし、2台ともにマシンバランスに苦しみ、オリベイラは13位でかろうじてQ2へ進出。一方のカルダレリは16位でまさかのQ1での脱落となってしまいました。続くQ2、今度は上位8台に絞られる7分間のアタックにオリベイラが臨みます。ニュータイヤでコースインし、残り50秒を迎えるところでアタックラップから戻り1.38.983のタイムをマーク。そのまま続いてアタックをするもタイムアップならず。しかし4番手でQ2を突破しQ3へ進出を果たしました。最終Q3も7分間で行われました。タイヤの皮むきの2周を終えてアタックラップに入ろうかというところで、先にアタックラップに入っていたマシンがデグナーでクラッシュ。赤旗が提示されます。マシン回収を終え、残り3分でQ3再開。オリベイラは今度は1周のみでタイヤを温め、アタックに突入。1.39.290で6位という予選結果に終わりました。



4/19(日) 決勝レース 天候：曇り コース：ドライ 気温：18℃ 路面温度：25℃
決勝レース距離 5.807km×49laps=249.701km 観客動員数:28000人

土曜日の好天から一転、朝から雨に見舞われた鈴鹿サーキット。朝のフリー走行はウェットで行われましたが、決勝が行われる15時には雨も上がり、ドライコンディションでスタートが切られることとなりました。スーパーフォーミュラの決勝前に行われた全日本ロードレース選手権JSB100クラスのレースでは転倒者が何人も出るほどの白熱したレースが行われ、SFのレースにも大きな期待を持って観客の皆さんがグラウンドスタンドを埋め尽くしました。オリベyraは6位から、カルダレリは16位からレースをスタート。オリベyraは順位変わらず6位でオープニングラップを終えます。一方のカルダレリはスタートできなかった1台があったのと、1台をかわし14位でホームストレートに戻ってきました。10周目を迎えたところでLENOVO TEAM IMPULのクルーはピット作業の準備に入ります。11周目、カルダレリを呼び込み給油のみで16位でコースに復帰させます。前がクリーンな状態で走行し他車のピット作業を終わったところで前に出たい考えでしたが、同じく早めのピット作業を行ったNo.8小林可梦偉選手にシケインでオーバーテイクを許し17位に。我慢のレースを強いられることになってしまいました。一方のオリベyraも6位のまま我慢の周回をこなしていきます。レース折り返しを迎えたところで続々ピット作業を行うドライバーが多い中、オリベyraは33周目にピットイン。タイヤ4輪交換と給油を行い、コースへ復帰。ここでピットイン前に前方を走行していたNo.38石浦宏明選手の前に出ることに成功。アウトラップで迫る石浦選手を必死に抑え込みます。しかし、後方を走行していたNo.3ジェームス・ロシター選手がタイヤ無交換でオリベyraの前に。結果的に6位のまま後半のレースに入っていました。ここから激しい5位争いを展開します。ロシター選手のブロックでなかなか前に出られないオリベyraはホームストレートで手を上げて苛立ちをアピール。オーバーテイクボタンを駆使し、時にはマシンをスライドさせながら前をうかがいます。レースもいよいよ終盤となった42周目のシケインで早いタイミングでのブレーキングを行ったロシター選手に接触。幸いにもマシンには影響なし。6位のままファイナルラップに突入していきます。3位を走行していたNo.16山本尚貴選手がエンジンブローでマシンを止めたり、バトルを繰り広げていたロシター選手がガス欠でストップしたこともあり、最終的にはオリベyraは4位でレースを終えました。カルダレリはその後も中団で苦しい走行を強いられ、11位でフィニッシュとなりました。

厳しい予選からスタートした2015年シーズンですが、苦しい状況ながらもオリベyraが4位に入り貴重なポイントを獲得しました。しっかりと立て直して次戦以降臨んで参りますので引き続き温かいご声援、よろしくお願い致します。



TEAM IMPUL Race Information

SUPER GT 第2戦 5/2(土)～3(日) 富士スピードウェイ

SUPER FORMULA 第2戦 5/23(土)～24(日) 岡山国際サーキット



2015年 協賛会社様

TOYOTA

lenovo FOR
THOSE
WHO DO.

BRIDGESTONE

Mobil 1

ENKEI

NGK
SPARK PLUGS

METAL SURFACE TREATMENT
WPC

Arai
HELMET

PUMA

パティスリー
銀座千疋屋

KiiVA
ENERGY BEAUTY DRINK

IMPUL

順不同・敬称略 ご支援 誠にありがとうございます。

監督・ドライバーからのコメント

星野一義

非常に難しい週末になってしまいました。スタッフ全員でしっかりミーティングをして、次の岡山に行きます。いいレースをお見せできるように頑張りますので引き続き応援よろしくお願いします。

NO.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

難しいレースでしたが、4位を獲得出来、まずまずなスタートが切れました。次は優勝を狙えるよう、車のセッティングを改良して、岡山に挑みたいと思います。応援してくれたみなさん、ありがとうございました。

No.20 アンドレア・カルダレッリ

本当に厳しい週末となりました。テストでのデータを生かしきれず、予選から思うようなペースを欠き、散々なレースで悔しいです。決勝までに若干セッティングは良くなりましたが、欲しかった全体のグリップや速さはつかみきれず、不本意なノーポイントで終わりました。もう一度チームとゼロから問題点を洗い出して改善していきます。



SF RESULT: 決勝結果

天候:曇り コース:ドライ 気温:18℃ 路面温度:25℃

決勝レース距離 5.807km×49laps=249.701km 観客動員数:28000人

Race (43Laps)							2015.4.19
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	2	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	43	1:14'01.371	202.40km/h	1'41.196
2	1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	43	1:14'10.855	9.484	1'41.431
3	41	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 HONDA HR-414E	43	1:14'29.077	27.706	1'41.048
4	19	J.P.デ・オリベイラ J.P.L.de Oliveira	LENOVO TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	43	1:14'40.370	38.999	1'41.490
5	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	43	1:14'41.450	40.079	1'42.022
6	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 HONDA HR-414E	43	1:14'45.279	43.908	1'42.225
7	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	REAL SF14 HONDA HR-414E	43	1:14'46.146	44.775	1'42.010
8	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 HONDA HR-414E	43	1:14'53.040	51.669	1'40.912
9	8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	43	1:14'57.804	56.433	1'42.498
10	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	NAKAJIMA RACING SF14 HONDA HR-414E	43	1:15'11.156	1'09.785	1'42.875
11	20	アンドレア・カルダレリ Andrea Caldarelli	LENOVO TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	43	1:15'15.889	1'14.518	1'43.130
12	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	43	1:15'16.222	1'14.851	1'42.672
13	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	43	1:15'29.955	1'28.584	1'42.908
14	4	ウィリアム・ブラー William Buller	FUJIXD'station KONDO SF14 TOYOTA RI4A	43	1:15'37.976	1'36.605	1'41.994
15	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 HONDA HR-414E	42	1:12'29.394	1Lap	1'41.021
16	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	FUJIXD'station KONDO SF14 TOYOTA RI4A	42	1:12'55.322	1Lap	1'42.457
17	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	42	1:14'35.747	1Lap	1'41.431
以上完走							
	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	DRAGO CORSE SF14 HONDA HR-414E	6	10'29.007	37Laps	1'42.877
	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 HONDA HR-414E		DNS		

開始時刻: 15:04'17

車両: SF14 / タイヤ: プリヂストーン

終了時刻: 16:18'18

SF RESULT: 予選結果 天候: 晴れ コース: ドライ 気温: 19℃ 路面温度: 31℃ 観客動員数: 23000人

■ Qualifying				2015.4.18		
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2	Q3
1	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 HONDA HR-414E	1'38.756	1'38.903	1'38.585
2	41	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 HONDA HR-414E	1'39.188	1'38.598	1'38.870
3	2	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'39.760	1'39.092	1'39.053
4	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'39.782	1'39.137	1'39.060
5	1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'39.572	1'39.090	1'39.080
6	19	J.P.デ・オリベイラ J.P.L.de Oliveira	LENOVO TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'39.833	1'38.983	1'39.290
7	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 HONDA HR-414E	1'39.019	1'38.791	1'39.816
8	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'39.664	1'39.040	1'46.443
9	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	FUJIXD'station KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'39.372	1'39.229	
10	8	小林 可梦偉 Kamui Kobayashi	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'39.363	1'39.263	
11	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 HONDA HR-414E	1'39.661	1'39.325	
12	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	REAL SF14 HONDA HR-414E	1'39.797	1'39.410	
13	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	DRAGO CORSE SF14 HONDA HR-414E	1'39.096	1'39.419	
14	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 HONDA HR-414E	1'39.835	1'39.963	
15	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'39.873		
16	20	アンドレア・カルダレッリ Andrea Caldarelli	LENOVO TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'40.158		
17	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	NAKAJIMA RACING SF14 HONDA HR-414E	1'40.304		
18	4	ウィリアム・ブラー William Buller	FUJIXD'station KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'40.698		
19	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'41.107		

Q1 : 開始時刻 : 13:50 / 終了時刻 : 14:10

Q2 : 開始時刻 : 14:20 / 終了時刻 : 14:27

Q3 : 開始時刻 : 14:37 / 終了時刻 : 14:50

車両 : SF14 / タイヤ : プリヂストン

SF 2015 SERIES RANKING

■ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Total
1	2	アンドレ・ロツテラー	10							10
2	1	中嶋 一貴	8							8
3	41	ナレイン・カーディケヤン	6							6
4	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	5							5
5	38	石浦 宏明	4							4
6	64	中嶋 大祐	3							3
7	11	伊沢 拓也	2							2
8	16	山本 尚貴	1							1
9	40	野尻 智紀	1							1
	8	小林 可夢偉								
	65	ペルトラン・バゲット								
	20	アンドレア・カルダレッリ								
	7	平川 亮								
	18	中山 雄一								
	4	ウィリアム・ブラー								
	3	ジェームス・ロシター								
	39	国本 雄資								
	34	小暮 卓史								
	10	塚越 広大								

■ Team ranking

Po	Team	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	18							18
2	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7							7
3	LENOVO TEAM IMPUL	5							5
4	P.MU/CERUMO・INGING	4							4
5	NAKAJIMA RACING	3							3
6	REAL RACING	2							2
	KONDO RACING	-							
	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	-							
	TEAM 無限	-							
	KCMG	-							
	DRAGO CORSE	-							